みずほCustomer Desk Report 2017/11/13 号(As of 2017/11/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.37	1.1646	132.02	0.9942	1.3143	0.7682
SYD-NY High	113.63	1.1678	132.54	0.9968	1.3229	0.7695
SYD-NY Low	113.22	1.1623	131.96	0.9926	1.3113	0.7653
NY 5:00 PM	113.54	1.1666	132.41	0.9958	1.3191	0.7659
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			7.35/7.71	Δ 25RR	0.830	Yen Call Over

NY DOW	23,422.21	▲ 39.73	債券市場	日本2年債	-0.1780	1.8bp
NASDAQ	6,750.94	0.89		日本10年債	0.0430	1.3bp
S&P	2,582.30	▲ 2.32		米国2年債	1.6541	2.1bp
日経平均	22,681.42	▲ 187.29		米国5年債	2.0515	4.0bp
TOPIX	1,800.44	▲ 12.67		米国10年債	2.3984	5.7bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,485.00	▲175.00		独10年債	0.4100	3.5bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,432.99	▲51.11		英10年債	1.3420	7.7bp
DAX	13,127.47	▲55.09		豪10年債	2.6120	1.5bp
ﾊﾝｾﾝ指数	29,120.92	▲ 15.65	為替市況	USD/CNH	6.6618	0.0138
上海総合	3,432.67	4.88		ドルインデックス	94.39	▲0.05
USDJPY 3M Vol	8.18	▲0.11%	商品市況	CRB指数	191.648	▲0.22
USDJPY 6M Vol	8.83	0.01%		NY金	1,274.20	▲13.30
EURJPY 3M Vol	7.59	0.01%		WTI	56.74	▲0.43
EURJPY 6M Vol	8.65	0.05%		Dubai Spot	62.05	0.53

東京

前日に米上院で公表された税制改革法案にて法人減税の適用開始時期が下院案よりも1年先送りとなったことを背景にﾄﾞﾙ円は朝方から上値重く推移。東京時間のﾄﾞﾙ円相場は113.37ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日の大幅な急落が記憶に新しい中、日経平均株価が前日比ﾏｲﾅｽ圏で寄り付くとﾄﾞﾙ円も一時113.27まで下落。その後は、同ﾚﾍﾞﾙでは押し目買いの動きも見られる中で日経平均株価が下げ止まったことも相俟って113.50付近まで反発。午後に入ってﾄﾞﾙ円は小幅に下押しされるも、米長期金利が上昇すると全般的にﾄﾞﾙ買い優勢の展開となりﾄﾞﾙ円も引けにかけて113.54まで上昇し、結局113.42ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、113.42ﾚﾍﾞﾙでｽﾀｰﾄ。米金利が小幅上昇する中でﾄﾞﾙ円は一時この日の高値となる113.63まで上昇。しかし、日経平均株価が高値警戒感から失速する中、ｸﾞﾘｰﾝｽﾊﾟﾝ元FRB議長による「米減税は経済的に間違い」との発言や、米上院の税制改革法案における法人減税先送り等を背景に、欧州株が軟調に推移。ﾄﾞﾙ円はﾛﾝﾄﾞﾝ時間安値となる113.33まで軟化し、113.40ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは1.3153ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾃﾞｰﾋﾞｽ英離脱担当相が、「ﾛﾝﾄﾞﾝ金融街の競争性を断固として維持する」、「12月までの離脱条件の合意を目指す」などと発言したことを好感しﾎﾟﾝﾄﾞは堅調に推移。1.3191まで上昇し、1.3178ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1645ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ECB理事会ﾒﾝﾊﾞｰのﾉﾎﾞﾄﾆｰ・ｵｰｽﾄﾘｱ中銀総裁が、「ECBが来年9月までの資産買い入れ継続を決定した際、買い入れ終了の明確な意図を示すべきだった」と述べたことから、出口観測が浮上し、1.1662まで上昇。1.1651ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 山本)

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は、113.40を挟んで方向感に欠ける推移となり、113.40ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米株が安く寄り付いたことや、発表された米11月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞが市場予想を下回ったことからﾄﾞﾙ売りが強まり、ﾄﾞﾙ円はこの日の安値となる113.22まで下落。しかし、前月急上昇した反動ということもあり、この水準では下げ渋り、じりじりと上昇する米金利を受けて113円半ば付近まで上昇。午後は113.61まで上昇する場面もあったが、海外時間高値の113.63が意識されたことや、週末を控えていることもあり積極的に上値を追う展開とはならなかった。その後のﾄﾞﾙ円は113.50付近での狭いﾚﾝｼﾞ内での推移が続き、113.54ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。なお、日中はﾌﾞﾗｰﾄﾞ・ｾﾝﾄﾙｲｽ連銀総裁(2017年投票権なし/ﾊﾄ派)の「ｲﾝﾌﾚは年末にかけて改善しない可能性が高い」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的となった。一方ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1651ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。米11月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞが予想を下回り、ﾄﾞﾙ売りが強まるとﾕｰﾛﾄﾞﾙは高値1.1678まで上昇。その後も堅調なﾕｰﾛ円を横目に1.16台後半での底堅い推移が続き、1.1666ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

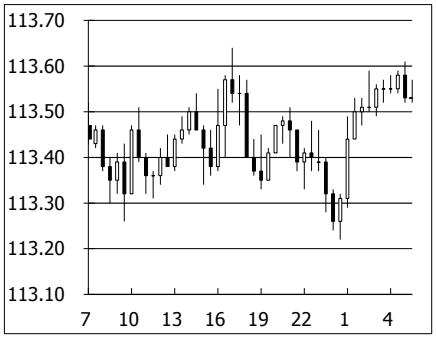
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月10日	9:30	豪	RBA議事要旨	-	-	-
	18:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	0.7%/2.5%	0.3%/1.9%
	18:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	9月	0.7%/2.7%	0.3%/2.4%
11月11日	0:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	11月	97.8	100.8

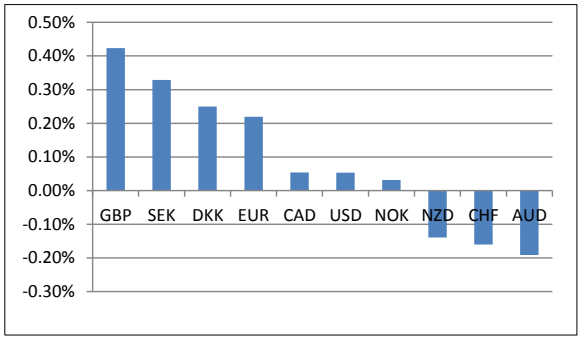
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月13日	7:00	豪	デベルRBA総裁補 講演	-	-	-
	9:10	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-	-
11月14日	2:45	日	黒田日銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.1600-1.1700	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

先週末金曜日海外時間のドル円は113円台で方向感なく推移。米11月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を下回ったことで113円台前半まで下落するも、米10年債利回りの上昇を受けて113円台半ばまで反発して越週した。本日のドル円は上値の重い展開を予想。注目される経済指標やイベントを欠く中で、米10年債利回りが2.4%を明確に上抜けできるかがひとつのポイントと考える。同水準は今年5月以来10月下旬に上抜けるまでは何度か跳ね返されてきていた水準である。但し、金利先物市場における12月会合での利上げ織込みは90%を超えている状況下、主要なイベントを欠く中で本日2.4%を大きく上抜けするとは考え難く、ドル円の上値は限られて次第にじりじりと弱含む展開になると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・鶴田